

別表第2（第3条関係）

## はしご自動車点検実施要領

（はしご装置運行前点検実施要領）

（はしご装置毎月点検実施要領）

西宮市消防局

## はしご装置運行前点検実施要領

点 検 箇 所		点 検 要 領	
エンジン始動前	各操作レバー・バルブの「中立」「全閉」の確認	各操作レバー、バルブの「中立」「全閉」状態を触感にて調べる。	
	各操作スイッチの「断」の確認、変形等の有無	各操作スイッチの「断」の状況を触感で、変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。	
	作動油タンクの変形等の有無、油量の適否	作動油タンクの変形、損傷の有無及び作動油タンクレベルゲージの油面を目視にて調べる。	
	てい体・滑車の変形等の有無	全般にわたり、変形、損傷の有無について目視、触感にて調べる。	
	ワイヤーロープ	滑車からの外れの有無	ワイヤーロープの滑車からの外れの有無について、目視にて調べる。
		張りの状態	ワイヤーロープの著しいたるみの有無について、目視にて調べる。
飛び出し防止装置の固定状況		確実に固定（フック式の場合）され、又は押さえられて（L型の場合）いるか、目視にて調べる。	
油圧発生装置	油圧ポンプ駆動装置の作動の良否	PTOスイッチを入れた場合、正常に作動し、かつ、ポンプシャフトが円滑に回転するか、触感、音感、目視にて調べる。	
	スロットルの作動の良否	スロットルスイッチを切り替えた場合、又はレバーを引いた場合、正常に作動し、かつ、ポンプシャフトが所定の回転数で回転するか、触感、音感、目視にて調べる。	
	油圧ポンプの作動の良否	回転中に異音がないか、油圧計にて所定の油圧が発生しているか、音感、目視にて調べる。	
	油圧機器、配管・高圧ホースの油漏れの有無	油圧ポンプ作動時、油圧機器、送油配管、高圧ホースからの油漏れの有無について、目視にて調べる。	
車両支持装置	アウトリガー・ジャッキ	作動の良否	アウトリガー、ジャッキが正常に作動するか、目視にて調べる。
		圧力の良否	所定の圧力で張り出しているか、目視にて調べる。
		油漏れの有無	各シリンダ等からの油漏れの有無を外観目視にて調べる。
スプリングロック装置の作動の良否		正常にロックされ、固定・開放時にランプが点灯するか、目視にて調べる。	
基部	各操作レバー・バルブ・主スイッチの作動の良否	各操作レバー、バルブ及び操作部主スイッチ（デッドマンペダル）操作により、起伏・伸縮・旋回・リフターの上昇、下降が正常に作動するか、触感、目視にて調べる。	
	ランプ・スイッチ・計器の作動の良否	スイッチの作動状態、ランプの点灯状態、圧力の指示状態について、目視にて調べる。	

操作部	てい体姿勢表示装置の作動良否		アウトリガー張り出し幅に応じた許容範囲が表示されるか、全起立させた時、所定の角度を表示するか、目視にて調べる。
	スロットル（てい体関係）の作動の良否		スロットルスイッチを切り替えた場合、又はレバーを引いた場合、正常に作動し、かつ、ポンプシャフトが所定の回転数で回転するか、触感、音感、目視にて調べる。
バリスケット部	各操作レバー・主スイッチの作動の良否		各操作レバー及び操作部主スイッチ（デッドマンペダル）操作により、起伏・伸縮・旋回が正常に作動するか、触感、目視にて調べる。
	各モニターランプの作動の良否		各操作により正常に点灯、作動するか、目視にて調べる。
	インターホンの作動の良否		操作により正常に通話できるか、音感にて調べる。
バスケット平衡装置の油量の適否及び作動の良否			平衡装置の油量及びてい体の起伏に応じて、バスケットが常に平衡状態を保っているか、目視にて調べる。
傾斜矯正装置の作動の良否			全短縮の状態、錘を振って、てい体が鉛直に矯正されるか若しくは傾斜矯正用の斜板又は傾斜矯正シリンダが円滑に作動し、正常に矯正されるか、異音の発生がないか、目視、音感にて調べる。
掛金装置の作動の良否			固定、解除が正常に作動し、確認灯が点灯するか、てい体伸長時の異音の有無について、目視、音感にて調べる。
応急作動装置	発動発電機（エンジン）	油量の適否	レベルゲージで油量の適否を目視にて調べる。
		始動及び電圧の良否	エンジンが正常に始動するか、電圧計で所定の電圧が発生しているか、音感、目視にて調べる。
	補助油圧ポンプの作動及び油圧の良否		クラッチレバー又は電磁クラッチスイッチを入れ、油圧ポンプが正常に作動するか、異音はないか、油圧計で所定の圧力が発生しているか、目視、音感にて調べる。
	パワーユニットの作動の良否		応急作動用パワーユニットのスイッチを入れ、モーター及びポンプが円滑に作動するか、異音の発生がないか、音感にて調べる。

(注) 上記点検箇所該当しない箇所のある車両は、はしご装置運行前点検表のその欄を空白にすること。

## はしご装置毎月点検実施要領

点検箇所		点検内容	点検要領
傾斜角度計(運転席)		作 動 の 良 否	傾斜角度計の作動の良否について、目視にて調べる。
駆 動 力 発 生 装 置 ・ 油 圧 発 生 装 置	・ P T O ・ スロットル 切替レバー	取 付 状 態 の 良 否	スロットル切替レバーのピンのガタ、スナップリングの脱落の有無について、触感、目視にて調べる。
		変 形 ・ 損 傷 の 有 無	レバー、ケーブルの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	① レバー式の場合は、入り具合を触感にて調べる。 ② 電磁切替弁式の場合は、P T Oスイッチ操作によりP T O確認灯の点灯の有無を目視にて調べる。 ③ P T Oリンク機構が的確に摺動するか、触感、目視にて調べる。 ④ P T Oリンク機構の割りピン、スナップリングの脱落の有無を目視にて調べる。 ⑤ スロットル切替レバーの操作によりエンジンの回転数に変化があるか、音感、目視にて調べる。	
	・ 作 動 油 タ ン ク ・ 作 動 油	取 付 状 態 の 良 否	タンク本体の取付部が確実に固定されているか、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	タンク上部及び下部の腐食、変形について、触感、目視にて調べる。	
	油 量 の 適 否	油量をレベルゲージ等により、目視にて調べる。	
	油 質 の 良 否	油圧ポンプ停止の状態ですレーンから作動油を抜き取り、乳白色の濁り、異物(浮遊物、沈殿物)の有無について、目視にて調べる。	
	油 漏 れ の 有 無	油漏れの有無について、目視にて調べる。	
	フイルターの目詰まりの有無	油圧ポンプ作動時、油圧ポンプ吸入部より異音によるキャビテーションの発生の有無について、音感にて調べる。	
油圧ポンプ駆動 ジョイント	取 付 状 態 の 良 否	駆動ジョイントのヨークフランジ、ボルト及びベアリングカバーボルトの緩み又はスナップリングの脱落の有無について、触感、目視にて調べる。	
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	駆動ジョイント、駆動シャフトの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。	
	給油脂状況の良否	ユニバーサルジョイントの給油脂状況の良否について、触感、目視にて調べる。	

油 圧 ポ ン プ	取 付 状 態 の 良 否	油圧ポンプが確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	P T Oの接・断操作により、油圧ポンプが円滑に駆動又は停止するか、音感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	ポンプ、ブラケットの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	油 漏 れ の 有 無	油圧ポンプ作動時、油漏れの有無について、目視にて調べる。
送 油 配 管	取 付 状 態 の 良 否	ユニオンナットの接続部の緩み、変形、損傷の有無について、工具、触感にて調べる。
	油 漏 れ の 有 無	① 油圧ポンプ作動時、送油配管のユニオンナットの接続部等からの油漏れの有無について、目視にて調べる。 ② 油圧ポンプ調圧弁からの油漏れの有無について、目視にて調べる。
各 回 路 安 全 弁	取 付 状 態 の 良 否	圧力調整ネジが確実にロックされているか、工具、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	① 操作用固定バルブを全閉し、操作レバーを操作した時、エンジン設定回転にて設定圧力範囲内であるか、目視にて調べる。 ② マイナス角度使用可能はしご車にあっては、次の方法により調べる。 ア 手動操作用バルブを全閉し、伸縮、リフター用油圧計の指示がエンジン設定回転にて設定圧力の範囲内であるか、目視にて調べる。（点検後、手動操作バルブは、全開にしておくこと。） イ はしご全起立にて、起伏角ポテンションメータコネクタを外し、操作部スイッチ（デッドマンペダル）を押しながら操作レバーを起方向に入れ、起伏用油圧計の指示がエンジン設定回転にて設定圧力の範囲内であるか、目視にて調べる。 ウ てい体を許容範囲自動停止まで伸張し、地上近くまで倒伏する。 更に許容範囲自動停止解除スイッチを押し、過負荷自動停止作動前まで伸張し、横方向から2名で押さえ、その方向に旋回し、旋回用油圧計の指示がエンジン設定回転にて設定圧力の範囲内であるか、目視にて調べる。
自動スロットル	作 動 の 良 否	① 各操作レバーを入れた時、エンジン回転数が許容範囲内にあるか、目視にて調べる。 ② スロットル切替装置が正常に作動するか、触感、目視にて調べる。

車 両 支 持 装 置	ジャッキ石突 ・ジャッキ受台 ・アウトリガー ・ジャッキ ・パイロット チェックバルブ ・近接スイッチ	変形・損傷の有無	① ジャッキ設定前に、ジャッキ石突が可動すること及びジャッキ受台の裏表の亀裂の有無について、触感、目視にて調べる。 ② アウトリガー、ジャッキの変形、損傷の有無について、目視にて調べる。 ③ 配管、高圧ホースの亀裂、変形の有無について、触感、目視にて調べる。 ④ アウトリガー張出し検出部の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。 ⑤ 各部近接スイッチ、マイクロスイッチの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
		作動の良否	① レバー操作により、アウトリガー、ジャッキが円滑に作動するか、触感、目視にて調べる。 ② アウトリガー張出し（展開）の不揃いの有無について、触感、目視にて調べる。 ③ アウトリガー張出し幅が表示されるものは、表示ランプが点灯するか、目視にて調べる。 ④ ジャッキ設定時、車体が2～3cm浮き上がったか、目視にて調べる。 ⑤ ジャッキ油圧計のあるものは、ジャッキ設定後レバーを張出し方向に入れた時、設定圧力範囲にあるか、油圧計により目視にて調べる。 ⑥ ジャッキ設定後、ジャッキ固定バルブ開放のまま発生油圧を止め（エンジン停止後PTO断又はクラッチペダルを踏む。）、ジャッキレバーを縮操作して、シリンダーロッドの収縮の有無を目視にて調べる。
		取付状態の良否	① ジャッキ石突、ジャッキパイロットチェック弁、近接スイッチ、マイクロスイッチの取付け部の緩みの有無について、触感、目視にて調べる。 ② ジャッキ設定状態で、シャシフレームへのアウトリガー取付け部の緩みの有無について、触感にて調べる。 ③ 展開式アウトリガーのヒンジ部分の緩みの有無について、触感にて調べる。
		油漏れの有無	ジャッキ設定後、シリンダチューブ、配管接続部、パイロットチェックバルブからの油漏れの有無について、触感、目視にて調べる。
	スプリングロック	取付状態の良否	スプリングロック装置の取付け部分の緩みの有無について、触感、目視にて調べる。
		作動の良否	ロックシリンダが正常に作動し、固定時、開放時に確認灯が点灯するか、目視にて調べる。
	水 準 器	取付状態の良否	緩み、ガタ、変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	ジャッキ部照明灯	取付状態の良否	① 取付ボルト、ビスの緩みの有無について、目視にて調べる。 ② 配線の他への接触の有無について、触感、目視にて調べる。
		変形・損傷の有無	各配線、ランプの変形、損傷について、触感、目視にて調べる。

てい体	取付状態の良否	① てい体はしご受台に確実に取付けられているか、目視にて調べる。 ② 伸てい前、てい体の横さんが、正しく重なっているか、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	伸てい前、てい体各連の主骨、縦骨、横さん、斜骨の変形、損傷、亀裂の有無について、触感、目視にて調べる。
てい体 ・滑車 ・ローラー	取付状態の良否	① てい体収納状態で、確実に取付けられ、ベアリングにガタがないか、触感、目視にて調べる。 ② 滑車軸のスナップリングの脱落の有無について、目視にて調べる。 ③ 滑車のワイヤ外れ止め締付けボルト及び割りピンの脱落の有無について、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	収納状態で、ローラーとローラー軸、滑車と滑車軸のクリアランスが異常に大きくないか、目視にて調べる。
	給油脂状況の良否	① ニップルが完全に取付けられているか、目視にて調べる。 ② 給油脂状態が完全で、グリースが異常に付着していないか、目視にて調べる。
スライディング パット (はしご後端部)	取付状態の良否	取り付け部分の緩みの有無について、触感、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	① 収納状態で、変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。 ② スライディングパットとてい体とのすきまが所定の値以上ないか、目視にて調べる。
・ワイヤロープ ・ワイヤロープ 取付金具	取付状態の良否	① てい体収納時、伸縮ワイヤロープが異常にたるんだり、張ったりしていないか、目視にて調べる。 ② 各連の伸縮ワイヤロープの張りが均等であるか、目視にて調べる。 ③ 端末固定部の調整ナット、端末固定ブラケット及びワイヤクリップの緩みの有無について、触感、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	① 端末固定金具及びさつま編み（アイスブライス）の変形の有無、亜鉛止めの抜け現象の有無について、触感、目視にて調べる。 ② ワイヤロープのキンク、素線切れ、さび、ロープ径の細り現象の有無について、触感、目視にて調べる。 ③ ワイヤロープに付着したグリース状の汚れ及び塵埃がないか、目視にて調べる。
・あおり止め ・収納ストッパ ・全伸長ストッパ	取付状態の良否	取付ボルトに緩みがなく、確実に取付けられているか、工具、触感、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	各連との接触痕、変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。

バスケット取付部	変形・損傷の有無	① 取付け部軸、ピン等の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。 ② バスケットロック装置の割りピンの脱落の有無について、触感、目視にて調べる。	
・てい体控ロープ	取付状態の良否	① 取付ボルトの緩みの有無について、触感、目視にて調べる。 ② ロープドラムがてい体へ確実に固定されているか、触感、目視にて調べる。	
・タラップ	変形・損傷の有無	ロープの損傷、老化の有無、てすり部分等の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。	
・先端照明灯 ・先端表示灯 ・使用限界 表示灯等	取付状態の良否	① てい体収納状態で、取付ボルト、ビスの緩みの有無について、触感、目視にて調べる。 ② 配線の他への接触の有無、クランプの緩みの有無について、触感、目視にて調べる。 ③ 配線ケーブルがプーリから外れてないか、目視にて調べる。	
・基部照明灯 ・サーチライト	変形・損傷の有無	各配線、ランプの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。	
基部 操作部	・パイロット ランプ	取付状態の良否	ランプ、スイッチ等の取付部の緩みの有無について、触感、目視にて調べる。
	・操作盤灯 ・インターホン ・スイッチ	変形・損傷の有無	インターホンの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
		作動の良否	① スイッチ操作により、操作盤灯、先端表示灯、照明灯等の点灯の有無について、目視にて調べる。 ② インターホンの送受話、音量調節が正常に作用するか、音感にて調べる。
	操作部主スイッチ (デッドマンペダル)	取付状態の良否	操作部主スイッチ(デッドマンペダル)が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
圧力計		作動の良否	操作により、操作部主スイッチ(デッドマンペダル)が正常に作動するか、触感、目視にて調べる。
		取付状態の良否	各圧力計が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
		変形・損傷の有無	変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
		作動の良否	油圧ポンプ駆動により、指針が作動するか、目視にて調べる。
・配管		油漏れの有無	圧力計基部、配管等からの油漏れの有無について、触感、目視にて調べる。
		取付状態の良否	リンク機構のピン、ワッシャ、割りピンの脱落の有無について、触感、目視にて調べる。



	・バルブ	油漏れの有無	バルブ、配管の油漏れの有無について、触感、目視にて調べる。
	・伸長計	取付状態の良否	伸長計、角度計、振子及び角度表示盤が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
		変形・損傷の有無	振子、角度表示盤の変形、損傷について、触感、目視にて調べる。
	・角度計	作動の良否	① 使用範囲図に起伏角度が表示されるものは、起伏操作を行ない、振子式角度計と比較して異常の有無について、目視にて調べる。 ② 伸縮操作時、伸長計が同時に作動し、全伸長時に指針が全伸長位置にあるか、目視にて調べる。
	許容範囲表示灯	作動の良否	アウトリガー張出し幅に応じた許容範囲が表示されるか、目視にて調べる。
リヤエプロン操作部	・アウトリガー、ジャッキ操作レバー ・固定バルブ	変形・損傷の有無	操作レバー、バルブの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
		作動の良否	動きが軽く正常に作動するか、触感、目視にて調べる。（オート機構付の場合は、アウトリガーの開放及び収納時中立に戻るか、触感、目視にて調べる。）
	各操作スイッチ	変形・損傷の有無	オート機構付である各操作スイッチの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
		作動の良否	スイッチを押すとジャッキ接地、傾斜矯正の作業姿勢形勢動作及び傾斜矯正、ジャッキ、アウトリガーの収納姿勢形勢動作を自動的に行なうか、触感、目視にて調べる。
	各モニターランプ	作動の良否	各操作により、各々のモニターランプが正常に点灯するか、目視にて調べる。
起伏装置	・起伏レバー ・起伏固定バルブ	取付状態の良否	レバー、バルブが確実に取付けられ、変形、損傷が無いが、触感、目視にて調べる。
		作動の良否	① レバーが円滑に起てい、伏てい側へ入るか、触感にて調べる。 ② バルブ固定の状態、起伏レバーを操作しても起伏シリンダが作動しないことを目視にて調べる。 ③ バルブ操作により微速操作ができるか、触感にて調べる。
	・起伏シリンダ ・パイロットチェックバルブ	取付状態の良否	起伏シリンダ上下ブラケットが確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
		変形・損傷の有無	シリンダチューブ、配管、減圧弁の変形、損傷の有無、ピストンロッドの傷の有無について、触感、目視にて調べる。

・減 圧 弁 ・配 管 ・高 圧 ホ ー ス	作 動 の 良 否	① 起伏レバーの操作で円滑に起伏するか、目視にて調べる。 ② 起伏作動時、左右ピストンロッドの長さが揃っているか、目視にて調べる。 ③ パイロットチェックバルブのバイパスバルブが完全に閉まっているか、またはしごを40度起ていさせ油圧の発生を停止し、レバーを「伏」に入れたとき起伏シリンダの縮みの有無について、触感、目視にて調べる。
	油 漏 れ の 有 無	配管、高圧ホースの損傷、配管接続部、パイロットチェックバルブ、減圧弁からの油漏れの有無について、触感、目視にて調べる。
	給 油 脂 状 況 の 良 否	給油脂状態が完全か、目視にて調べる。
・旋 回 レ バ ー ・固 定 バ ル ブ ・手 動 ハ ン ド ル	取 付 状 態 の 良 否	レバー、バルブ、ハンドルが確実に取付けられ、ノッチ式レバーはノッチでロックできるか、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	手動ハンドル、レバー、バルブの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	① 旋回レバーが円滑に左回り、右回り側へ入るか、触感、目視にて調べる。 ② 手動ハンドルの操作で正確に作動するか、触感にて調べる。 ③ 旋回固定バルブで微速旋回できるか、触感にて調べる。
旋 回 装 置 ・旋 回 接 手 ・集 電 リ ン グ ・ブ ラ シ ・近 接 ス イ ッ チ	取 付 状 態 の 良 否	確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	① 旋回接手、集電リング、ブラシ、近接スイッチの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。 ② 集電リング、ブラシの汚れの有無について、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	① 旋回レバー操作により、旋回接手が円滑に作動するか、目視にて調べる。 ② 作動中、旋回接手からの油漏れ、異音の有無について、目視、音感にて調べる。
・油 圧 モ ー タ ・減 速 機 ・チ ェ ー ン ・ベ ル ト	取 付 状 態 の 良 否	① 油圧モータ、減速機が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。 ② チェーン、ベルトの張り具合の良否について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	① 旋回レバーの操作により円滑に回転するか、目視にて調べる。 ② 作動中、油圧モータ、減速機、チェーン等からの異音の有無について、音感にて調べる。 ③ 作動中、油圧モータ、減速機、配管からの油漏れの有無について、目視にて調べる。 ④ はしごを少し起ていし、はしご先端を人力で左右に揺すり、ターンテーブル（斜板を組合わせた矯正機構を含む。）のガタツキが多くないか、触感、目視にて調べる。
	油 量 の 適 否	減速機油量を油面サイドプラグ又はレベルゲージで定量まであるか、目視にて調べる。

		油 質 の 良 否	オイルの濁り、異物の有無について、目視にて調べる。
傾 斜 矯 正 装 置	自動傾斜矯正装置	取付状態の良否	矯正用重錘、油圧モータ、減速機、シフトローラー、シフトシャフト、ローラー、斜板を組合わせた矯正機構等が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
		変形・損傷の有無	重錘、シフトローラー、ロックシリンダ、油圧機器配管の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
		作 動 の 良 否	① スイッチ及びバルブを「開」にして、重錘を手で左右に振って、てい体が鉛直矯正されるか、目視にて調べる。 ② 作動中の異音の有無について、音感にて調べる。 ③ 傾斜矯正用の斜板又は傾斜矯正シリンダが円滑に作動し、異音等の発生が無いか、音感、目視にて調べる。
		油 量 の 適 否	減速機の油量がレベルプラグまであるか、目視にて調べる。
		給油脂状況の良否	シフトシャフト、ギヤの給油脂状態が完全か、目視にて調べる。
		油 漏 れ の 有 無	ロックシリンダ、配管、高圧ホースに油漏れが無いか、触感、目視にて調べる。
	手動傾斜矯正 ハンドル	取付状態の良否	手動ハンドルにガタがなく、確実に取付けられているか、触感にて調べる。
	作 動 の 良 否	ハンドル操作により、円滑に作動するか、触感にて調べる。	
・ 伸 縮 レ バ ー ・ 伸 縮 手 動 ハ ン ド ル	取付状態の良否	レバーが確実に取付けられ、ノッチ式レバーは、ノッチでロックできるか、触感、目視にて調べる。	
	変形・損傷の有無	手動ハンドル、レバーの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。	
	作 動 の 良 否	① 伸縮レバーが円滑に伸縮側へ入るか、触感にて調べる。 ② レバー操作と同時に、てい体、伸縮シリンダ又は伸縮ドラム及びドラムブレーキが作動するか、目視にて調べる。	

伸縮装置

・伸縮ワイヤロープ ・滑車 ・ローラー	取付状態の良否	① 起てい時、ワイヤロープの端末固定の変形の有無、ワイヤクリップ及び端末固定ボルト、ロックナットの緩みの有無、ワイヤ取付けピンの割りピンの脱落が無いか、触感、目視にて調べる。 ② 掛金固定後、滑車と滑車軸、ローラーとローラー軸のクリアランスが異常に大きくないか、目視にて調べる。 ③ 掛金固定後、伸縮ワイヤーがたるんだ状態で全ての滑車が円滑に手で回転するか、触感にて調べる。
	変形・損傷の有無	① 収納時確認できないローラー、滑車の変形、損傷、摩耗、亀裂の有無について、触感、目視にて調べる。 ② ワイヤロープのキンク、摩耗、素線切れ、サビの有無について、触感、目視にて調べる。
	作動の良否	作動中、滑車、ローラーからの異音の有無について、音感、目視にて調べる。
	張り状態の適否	掛金固定状態で、異常にたるんだワイヤロープが無いか、目視にて調べる。
	給油脂状況の良否	ローラー、滑車軸、ワイヤロープの給油脂が完全でグリースが異常に付着していないか、目視にて調べる。
・配管 ・パイロットチェックバルブ ・バランスバルブ ・スライディングパッド (伸縮シリンダロッド廻り)	取付状態の良否	① 伸縮シリンダチューブ、ピストンロッドの取付軸が確実に取付けられているか、またパイパスバルブが完全に閉まっているか、触感、目視にて調べる。 ② カウンターバランスバルブ、スライディングパッドの取付状態の良否について、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	伸縮シリンダチューブ、配管、ピストンロッドの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作動の良否	① 伸縮レバー操作により、左右のシリンダ、ピストンロッドの長さが揃っているか、目視にて調べる。 ② 伸縮シリンダが全縮ていの時、横さん及びてい体各連の後端面が揃っているか、目視にて調べる。 ③ 全起立にて伸ていし、油圧の発生を止めてレバーを「縮」に入れた時、てい体が縮まないか、目視にて調べる。
	油漏れの有無	シリンダ、配管、パイロットチェックバルブ、伸縮安全弁、バランスバルブからの油漏れの有無について、目視にて調べる。
	取付状態の良否	確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・伸縮油圧モータ</li> <li>・減速機</li> <li>・配管</li> <li>・伸縮ドラム</li> </ul>	変形・損傷の有無	油圧モータ、減速機、ワイヤロープ巻取ドラム及びドラムブレーキの変形、損傷、亀裂の有無について、触感、目視にて調べる。	
	作動の良否	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 伸縮レバー操作により、伸縮時ワイヤロープ巻取ドラムが円滑に回転するか、またドラムブレーキが開放動作するか、目視にて調べる。</li> <li>② てい体を75度に起ていし、約20m伸ていさせ、伸縮レバーを中立位置にした状態で、てい体下がってこないか、目視にて調べる。</li> <li>③ 全縮ていした時、横さん、てい体各連の後端面が揃っているか、目視にて調べる。</li> <li>④ 作動中、異音の発生の有無について、音感にて調べる。</li> </ul>	
	油漏れの有無	油圧モータ、減速機、ブレーキシリンダ、電磁弁、配管からの油漏れの有無について、目視にて調べる。	
	油量の適否	減速機油量が、レベルゲージ定量又はサイドプラグまであるか、目視にて調べる。	
リフター装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフターレバー</li> <li>・リフター固定バルブ</li> </ul>	取付状態の良否	<ul style="list-style-type: none"> <li>① レバー及びレバーマイクロスイッチが確実に取付けられ、ノッチ式レバーはノッチでロックできるか、触感、目視にて調べる。</li> <li>② バルブにガタがなく、確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。</li> </ul>
	変形・損傷の有無	変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。	
	作動の良否	<ul style="list-style-type: none"> <li>① リフター昇降時、レバーが円滑に作動するか、触感にて調べる。</li> <li>② バルブ固定の状態、レバー操作をしてもリフターが停止しているか、目視にて調べる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・油圧モータ</li> <li>・減速機</li> <li>・配管</li> <li>・ワイヤロープ巻取ドラム</li> </ul>	取付状態の良否	油圧モータ、減速機、巻取ドラム及びドラムブレーキの取付部が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。	
	変形・損傷の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 油圧モータ、減速機の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。</li> <li>② 巻取ドラムのドラム軸部、ドラムの摩耗、亀裂の有無について、触感、目視にて調べる。</li> </ul>	
	作動の良否	<ul style="list-style-type: none"> <li>① リフターレバーの操作により、リフター昇降時巻取ドラムが円滑に回転するか、目視にて調べる。</li> <li>② リフターレバーの操作により、リフター巻取ドラムブレーキが開放動作するか、目視にて調べる。</li> <li>③ 作動中、異音の有無について、音感にて調べる。</li> </ul>	
	油漏れの有無	油圧モータ、減速機、配管からの油漏れの有無について、目視にて調べる。	
	油量の適否	減速機油量が、レベルゲージの定量又はサイドプラグまであるか、目視にて調べる。	

・リフター本体 ・ステップロック ・ガイドローラー	取付状態の良否	折り畳み手摺りの取付部、関節部の割りピンの脱落の有無について、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	① リフター、本体の折り畳み手摺りのパイプ、溶接部の変形、損傷、亀裂の有無について、触感、目視にて調べる。 ② ガイドローラー、外れ止めローラーの摩耗、ローラー軸の変形の有無について、触感、目視にて調べる。 ③ 転落防止バンドの老化、損傷の有無及びバンド取付金具の破損の有無について、触感、目視にて調べる。
	作動の良否	① 転落防止バンド取付金具のナス環及び収納時固定レバーの機能の確実性について、触感、目視にて調べる。 ② 使用時、収納時、ステップロックが確実に固定されているか、目視にて調べる。 ③ 使用時、ガイドローラーが円滑に回転するか、目視にて調べる。
・リフター ワイヤロープ ・滑車	取付状態の良否	① 起てい時、リフターワイヤが巻取ドラムに確実に取付けられているか、目視にて調べる。 ② てい体収納時に確認できない滑車軸のベアリングのガタの有無について、触感にて調べる。 ③ リフターワイヤ末端のリフター本体取付部のシャックル取付けボルトのロックナットの緩み及び割りピンの脱落の有無について、触感、目視にて調べる。
	作動の良否	滑車が正常に回転し、溝にワイヤロープが入っているか、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	① 滑車の変形、亀裂の有無、滑車溝の摩耗の有無について、触感、目視にて調べる。 ② てい体収納時確認できない箇所のワイヤロープのキンク、摩耗、素線切れの有無について、触感、目視にて調べる。 ③ ワイヤ末端のドラム回転部及びリフター本体取付部の変形の有無について、目視にて調べる。
	給油脂状況の良否	滑車軸、ワイヤロープの給油脂が完全であるか、目視にて調べる。
リフターアンロック装置	取付状態の良否	リフターアンロック用マイクロスイッチが確実に取付けられているか、触感にて調べる。
	作動の良否	リフターアンロック作動時、伸縮レバーが作動しないか、目視にて調べる。
リフターブレーキ装置	取付状態の良否	① ブレーキ用カムが確実に取付けられているか、触感にて調べる。 ② ブレーキ用ドラムにブレーキワイヤロープが確実に巻き付いているか、目視にて調べる。 ③ ブレーキ用ワイヤロープが異常にたるんでいないか、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	てい体上部主骨上面のカム式ブレーキのかみ合い部の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。

	作 動 の 良 否	安全装置レバーが乗員（作動）、降員（開放）側へ作動するか、触感にて調べる。
リフター収納掛金	取付状態の良否	取付けの緩みがないか、触感、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	変形、損傷の有無、割りピンの脱落、シリンダに油漏れがないか、触感、目視にて調べる。
昇降タラップ	取付状態の良否	各取付け部分に緩みがないか、触感、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	各部に変形、損傷がないか、触感、目視にて調べる。
安全装置 過荷重 自動停止装置	取付状態の良否	密閉油圧式荷重計及び荷重検出シリンダ又は荷重検出センサが確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	密閉油圧式荷重計及び荷重検出シリンダ又は荷重検出センサの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	① 起立角60度前後で伸ていし、表示ランプが点灯するか、目視にて調べた後、掛金を外し、縮ていして、表示ランプが点灯するか、目視にて調べる。 ② 水平以下に伸ていした状態で先端に荷重を掛け、警報が発するか、音感にて調べる。
	油 漏 れ の 有 無	荷重計、荷重検出器、自動停止用マスターシリンダ及び配管接続部からの油漏れの有無について、触感、目視にて調べる。
安全装置 障害自動停止装置	取付状態の良否	① てい体収納状態で、先端障害自動停止の触角等が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。 ② 障害警報圧力計、電磁弁、操作レバー自動停止用シリンダ、マイクロスイッチのアーム部が、確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	触角等の圧力スイッチの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	てい体先端が障害物に自動停止作動範囲まで近付いた時、先端障害自動停止装置が作動状態になるか、目視にて調べる。
安全装置 最終自動停止装置	取付状態の良否	はしご最上段先端部、伸縮シリンダ先端滑車上部の各マイクロスイッチ又は近接スイッチ本体（ポテンションメータ含む）マイクロスイッチ若しくは近接スイッチアーム部が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	各マイクロスイッチ又は近接スイッチアーム部、本体の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。

	作 動 の 良 否	起伏、伸縮の操作を行い、最終に自動停止するか、目視にて調べる。
掛 金 装 置	取 付 状 態 の 良 否	掛金本体がはしご各連に確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	起ていした状態で各連の掛金、爪の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	① 全起立にて全伸長まで伸長した際、安全掛金準備範囲ランプの確認灯の点灯の有無、ブザーの鳴動の有無を音感、目視にて調べる。 ② 起立角40度以上において伸長していき、安全掛金準備範囲ランプ点灯時に停止、縮ていを行った時、全ての安全掛金が確実に固定しているか、目視にて調べる。 ③ 自動安全掛金装置のあるものは、所定の操作を行った場合に各種表示灯が的確に点灯又は消灯するか及び自動的に固定又は解除動作を行うか、目視にて調べる。
・ 飛び出し防止用 マイクロ スイッチ ・ フック用 シリンダ	取 付 状 態 の 良 否	① 三角フレーム位置及びフック作動確認の各マイクロスイッチが確実に取付けてあるか、触感、目視にて調べる。 ② てい体後端部の飛び出し防止フック、フック用シリンダが確実に取付けてあるか、触感、目視にて調べる。 ③ 飛び出し防止レバーを操作して、てい体にフックが固定、開放作動するか、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	飛び出し防止用各マイクロスイッチ、フック用シリンダの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	① 起ていした時、所定の角度でフックが開放作動するか、目視にて調べる。 ② てい体を伏てい収納時、確実にフックが固定するか、目視にて調べる。
L型はしご 飛び出し防止装置	取 付 状 態 の 良 否	はしご支柱に飛び出し防止装置が確実に取付けられているか、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	① 飛び出し防止装置下部板スプリングの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。 ② はしご支柱下部取付部の変形、亀裂の有無について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	てい体収納後、飛び出し防止フックがてい体横さん前部に入っているか、目視にて調べる。
	取 付 状 態 の 良 否	取付部分に緩みがなく、確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	飛び出し防止レバー及び飛び出し防止掛金の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	てい体収納時、ロック装置が確実に作動し、固定できるか、触感、目視にて調べる。



緊急停止装置	作 動 の 良 否	バスケット内緊急停止ボタン、操作部主スイッチ（デッドマンペダル）の作動操作により、はしご装置の動作が停止し、緊急停止ランプが点灯するか、触感、目視にて調べる。
使用限界 自動停止装置	作 動 の 良 否	アウトリガーの張出し距離及び先端の荷重条件に応じて自動停止するか、触感、目視にて調べる。
操作速度自動制御装置	作 動 の 良 否	伸長度に応じて旋回又は起伏の速度が制御されているか、触感、目視にて調べる。
軟始動・ 軟停止装置	作 動 の 良 否	てい体の起伏、旋回、伸縮操作時、急なレバー操作を行ってもてい体が軟始動、軟停止するか、触感、目視にて調べる。
キャブ保護 自動停止装置	作 動 の 良 否	① 起立角度が所定の角度以下の時に旋回した際、てい体収納位置範囲以外のキャブ方向に近付いた時、警報を発生し停止するか、音感、目視にて調べる。 ② てい体がキャブ方向にあって、てい体収納位置範囲を除いた場所で、起立角度が所定の角度以下に達したとき、警報を発生し、停止するか、音感、目視にて調べる。
背面荷重警報装置	作 動 の 良 否	伏てい操作により、てい体先端が障害物に押付けられた時、警報を発生し、てい体が自動停止するか、音感、目視にて調べる。
リフター 自動停止装置	取付状態の良否	① 第一限界、第二限界のマイクロスイッチ又は近接スイッチが確実に取付けられているか、目視にて調べる。 ② マイナス角度使用可能はしご車にあっては、上記以外に収納範囲及び収納位置の近接スイッチが確実に取付けられているか、目視にて調べる。
	変形・損傷の有無	マイクロスイッチ又は近接スイッチの変形、損傷の有無について、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	① リフターを上昇していき、第一限界に達した時、警報及び停止するか、音感、目視にて調べる。 ② 第一限界の位置において、リフター停止、解除ができ、第二限界まで上昇し、第二限界に達した時、警報及び停止するか、音感、目視にて調べる。 ③ マイナス角度使用可能はしご車にあっては、上記以外にリフターが収納範囲に達した時、降下速度が低速になり、収納位置にて停止するか、リフター固定レバーに確実に固定されているか、目視にて調べる。
リフター-インターロック	作 動 の 良 否	バスケットが装着されている時、リフターの上昇ができないことを触感、目視にて調べる。
ジャッキ インターロック	作 動 の 良 否	てい体が、てい体受け支柱に収納されていない時、ジャッキ操作ができず、ジャッキが設定されていない時、はしご装置の操作ができないことを触感、目視にて調べる。

応急 作 動 装 置	はしご装置操作 インターロック	作 動 の 良 否	ジャッキが、接地していない時、はしご装置の操作できず、リフター未収納状態で、バスケットを装着した時、はしご装置の操作ができないことを触感、目視にて調べる。	
	アウトリガー インターロック	作 動 の 良 否	全ジャッキが収納されていない時、アウトリガー操作ができないことを触感、目視にて調べる。	
	発 動 発 電 機	取 付 状 態 の 良 否	取付けボルトの緩みの有無について、工具、触感、目視にて調べる。	
		油 量 の 適 否	油量がレベルゲージの定量までであるか、目視にて調べる。	
		油 質 の 良 否	油質の劣化について、目視にて調べる。	
		変形・損傷の有無	① 燃料タンク、燃料パイプの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。 ② 点火プラグの碍子の損傷及び汚れの有無について、目視にて調べる。 ③ 点火プラグの間隙が正規の隙間になっているか、目視にて調べる。 ④ Vベルトの損傷、劣化の有無について、触感、目視にて調べる。 ⑤ Vベルトの張り具合は、中央でのたわみが、5～10mm程度あるか、触感、目視にて調べる。 ⑥ エアークリーナーの汚れの有無について、目視にて調べる。	
		作 動 の 良 否	① スタータボタンを押し容易に始動するか、触感、音感にて調べる。 ② 発生電圧が100～110Vあるか、目視にて調べる。	
	ク ラ ッ チ (レバ-式、電磁式)	作 動 の 良 否	① レバーの作動時、Vベルトの張り具合が適正であるか、目視にて調べる。 ② スイッチの作動により、電磁クラッチがかみ合うか、触感、目視にて調べる。	
	補 助 油 圧 ポ ンプ	油 圧 ポ ンプ (エンジン駆動)	取 付 状 態 の 良 否	取付けボルトに緩みはないか、工具、触感、目視にて調べる。
			作 動 の 良 否	クラッチ(スイッチ)を入れ、発生油圧が設定圧力値であるか、目視にて調べる。
油 漏 れ の 有 無			ポンプ及び配管からの油漏れの有無について、目視にて調べる。	
パ ワー ユ ニ ッ ト (バッテリー-駆動)		取 付 状 態 の 良 否	取付けに緩みはないか、工具、触感、目視にて調べる。	
		作 動 の 良 否	補助油圧ポンプスイッチ操作により、正常に作動し、異音の発生がないか、音感、目視にて調べる。	
		油 漏 れ の 有 無	ポンプ及び配管からの油漏れの有無について、目視にて調べる。	

手 動 ポ ン プ	取 付 状 態 の 良 否	取付けに緩みはないか、工具、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	手動ポンプのハンドル操作により、正常に作動するか、触感、目視にて調べる。
	油 漏 れ の 有 無	ポンプ及び配管からの油漏れの有無について、目視にて調べる。
手 動 操 作	作 動 の 良 否	操作手順によりジャッキ・アウトリガー、傾斜矯正、はしご関係の各操作を行い正常に作動するか、触感、目視にて調べる。
バ ス ケ ッ ト 本 体	取 付 状 態 の 良 否	本体が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	本体全体の変形、亀裂、損傷、ステップ滑りゴムの損傷、はがれの有無について、触感、目視にて調べる。
バ ス ケ ッ ト 角 度 検 出 部	取 付 状 態 の 良 否	角度検出部が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	角度検出部の変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
コ ネ ク タ	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	コネクタの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作 動 の 良 否	確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
・ 油 圧 機 器 ・ 配 管 ・ 高 圧 ゴ ム ホ ー ス	取 付 状 態 の 良 否	油圧機器、配管、高圧ゴムホースの緩みの有無について、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	油圧機器、配管、高圧ゴムホースの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	油 漏 れ の 有 無	油圧機器、配管、高圧ゴムホースからの油漏れの有無について、触感、目視にて調べる。
パ ワ ー ユ ニ ッ ト	取 付 状 態 の 良 否	取付部の緩みの有無について、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	パワーユニットの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	油 漏 れ の 有 無	油量が適正か、油漏れがないか、触感、目視にて調べる。
平 衡 装 置	取 付 状 態 の 良 否	① 平衡シリンダの取付けに緩みがないか、触感、目視にて調べる。 ② 平衡シリンダ両端の割りピン、テーパピンの脱落、不具合の有無について、触感、目視にて調べる。
	変 形 ・ 損 傷 の 有 無	平衡シリンダの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。

	油漏れの有無	平衡シリンダからの油漏れの有無について、触感、目視にて調べる。
	作動の良否	① 手動バイパスコックを姿勢を低くして押した時、バスケットが自由に動くか、触感、目視にて調べる。 ② バイパスコックを押し、バスケットを所定の角度以上傾けた時、起伏・伸てい操作ができないことを触感、目視にて調べる。
バスケット内 操作レバー	取付状態の良否	① レバーが確実に取付けられ、ノッチ式レバーはノッチでロックできるか、触感、目視にて調べる。 ② バルブにガタが無く、確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。 ③ 変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
	作動の良否	レバーが円滑に作動するか、触感にて調べる。
操作部主スイッチ (デッドマンペダル)	取付状態の良否	操作部主スイッチ(デッドマンペダル)が確実に取付けられているか、触感、目視にて調べる。
	作動の良否	スイッチが正常に作動するか、触感、目視にて調べる。
インターホン	作動の良否	基部操作部と正常に通話できるか、音感にて調べる。
各モニターランプ	作動の良否	各操作により、正常に点灯するか、目視にて調べる。
てい 体 受 け 支 柱	支柱台 ・アーム ・ローラー	取付状態の良否 ① 確実に取付けられ、緩みがないか、触感、目視にて調べる。 ② 起てい時、アームが手で押して軽く動くことはないか、触感、目視にて調べる。
	支柱収納 近接スイッチ	変形・損傷の有無 支柱台、アーム、ローラーに変形、損傷がないか、触感、目視にて調べる。
そ の 他	バスケット 収納装置	取付状態の良否 スイッチの取付部の緩みの有無について、触感、目視にて調べる。
		変形・損傷の有無 近接スイッチの変形、損傷の有無について、触感、目視にて調べる。
		取付状態の良否 取付部の緩み、不具合がないか、触感、目視にて調べる。
		変形・損傷の有無 バスケット収納装置に変形、損傷がないか、触感、目視にて調べる。
	作動の良否 正常に作動するか、触感、目視にて調べる。	
	取付状態の良否 取付部に緩みがないか、触感、目視にて調べる。	

の 装 置	風 速 計	変形・損傷の有無	風速計に変形、損傷がないか、触感、目視にて調べる。
		取付状態の良否	確実に取付けられ、緩みがないか、触感、目視にて調べる。
	放 水 銃	変形・損傷の有無	放水銃に変形、損傷がないか、触感、目視にて調べる。

(注) 上記点検箇所該当しない箇所のある車両は、はしご装置毎月点検表のその欄を空白にすること。